

**個別最適な学びと協働的な学びの
一体的な充実について**

「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実に向けてのポイント

資質・能力を育成するための単元（題材）を構想する

主体的・対話的で深い学びの実現



デジタル学習基盤（一人1台端末やクラウド環境等）の活用

「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実に向けてのポイント

深い教材研究

- ☐ 単元(題材)で育成する資質・能力を明確にしていますか。
- ☐ 児童生徒の深い学びを促し、教科の本質に迫る「単元を貫く問い」などを設定していますか。
- ☐ 児童生徒の思考の流れを想定した単元(題材)を構成していますか。
- ☐ 多様な個性・特性を有する児童生徒が存在することを前提として、授業において起こりうるつまずきとそれに対する支援を想定していますか。

個の見取り

- ☐ 児童生徒一人一人の興味・関心や能力・特性等を把握していますか。
- ☐ 授業において、展開や振り返りの場面で、児童生徒一人一人の学習進度や学習到達度、つまずき等を把握していますか。(形成的評価)
- ☐ 単元(題材)の終わりに、児童生徒一人一人が単元(題材)で育成する資質・能力を身に付けることができたか把握していますか。(総括的評価)

個への支援

- ☐ 児童生徒が興味・関心や能力・特性等に応じて自ら教材・学習方法・ペース等を選択できる学習環境を整えていますか。
- ☐ 個別最適な学びの中で孤立した学びに陥らないよう、また、協働的な学びの中で個が埋没しないよう、児童生徒一人一人に適切な指導や関わりを行っていますか。

熊野町立熊野第三小学校の取組

【研究主題】

主体的に自己を発揮しながら学びを深める児童の育成
～「やりたい!!」があふれる授業づくりを通して～

重点目標

「やりたい!!」があふれる学校づくり
学びを深める子(わかる・できる・やりたい力)の育成
～ポジティブ行動支援を通して～

目指す教職員の姿 感受力と学びの継続

- 一人一人の子供を見つめ、よりよく理解する教職員
- 高い同僚性をもち、信頼される教職員
- 学び続ける教職員

目指す学校の姿 共創 協働

- 授業と学校生活を大切にする学校
- 「やりたい!!」があふれる学校
- 子供も教職員も育つ学校

目指す児童の姿

つよく
(向上心)

何度でもあきらめずに
チャレンジする子

かしこく

(わかる・できる・やりたい力)
学びを深める子

やさしく
(思いやり)

優しく接する子

つよい自分づくり

何度でもあきらめずにチャレンジする子
(向上心)

- ・挑戦し続けるための取組の工夫 (教務部)
- ・運動を楽しむ続けるための場づくり (保健安全体育部)
- ・自己指導能力を学ぶ手立ての工夫 (生徒指導部)

かしこい自分づくり

学びを深める子

(わかる・できる・やりたい力)

- ・「やりたい!!」を後押しする学習指導の工夫 (教務部)
- ・体力・健康・安全に関する学びの充実 (保健安全体育部)
- ・よりよい集団をつくるための取組の進化 (生徒指導部)

やさしい自分づくり

優しく接する子 (思いやり)

- ・他者の考えを認める振り返りの充実 (教務部)
- ・命を守るための取組の充実 (保健安全体育部)
- ・スマイルハッピー目標の行動化に向けた取組の充実 (生徒指導部)

熊野町立熊野第三小学校の取組

PBS（ポジティブ行動支援）

子供のポジティブな行動を ポジティブな方法で育てよう！



スマイルハッピーツリーの取組

熊野町立熊野第三小学校の取組

PBS (ポジティブ行動支援)

子供のポジティブな行動を ポジティブな方法で育てよう！

スマイルハッピー目標

	つよい自分づくり	かしこい自分づくり	やさしい自分づくり
学 習	自分で決めた 学び方をやりきる。 5こ	自分の思い・考えを 表現する。 1こ	人の思い・考えを 受け止める。 5こ
生 活	時間いっぱい 活動する。 13こ	「自分のやりたい!!」が 「だれもが良い!!」に つながる行動をする。 9こ	自分や相手の良さを 発見する。 108こ

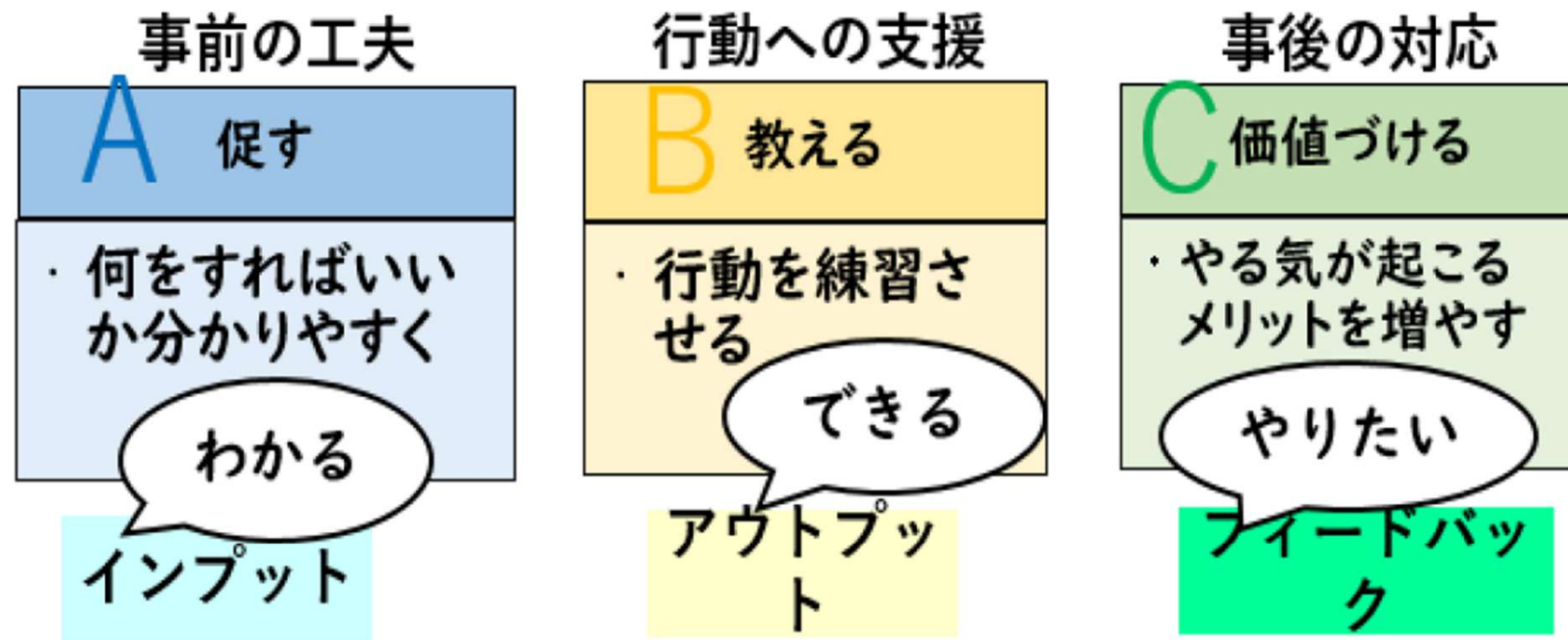
9こ 108こ

スマイルハッピー目標の取組

熊野町立熊野第三小学校の取組

PBS (ポジティブ行動支援)

学習にPBSの考え方を生かす



学びの循環 (ラーンユニット) を回す
授業の中で取り組む

PBS（ポジティブ行動支援）

授業の流れ

授業前

本時のめあての焦点化・達成に必要な選択肢を準備する。

導 入

本時に必要な考え・既習事項を**インプット**する。

本時のめあて

本時のめあてを具体的な行動レベルで焦点化する。

展 開

選択肢を生かして、児童が繰り返し**アウトプット**する。

★教師はその様子を見て回り、肯定的な評価を即時行い、
次の学習へ向かえるような**フィードバック**をする。

終 末

学習の定着状況を確認する適用題に取り組む。

ラーンユニット：**インプット⇒アウトプット⇒フィードバック**

既習事項等のインプット

学しゅうのながれ

① ロボットをえらんで、
かしこいポイントとその理ゆうを
考える。

② あてはまるかしこいにカードを
はる。

③ 一番かしこいと思うロボットを
えらんでカードを書く。

④ 友だちのカードを読んで分かった
ことをつたえ合う。

⑤ ふりかえりをする。
・ 友だちとつたえ合ってたこと
(できた・いいな・分かった)

① 友だちのカードをじっくり読
む。
② コーナーに行ってやってみる。
③ 二つ目三つ目のロボットの
「かしこい」を考える。

やってみよう！
ロボットから！

● がにている！
● ちがうけどと
分かった

本時の流れを具体的に示し児童と共有

熊野町立熊野第三小学校の取組

深い
教材研究

個の
見取り

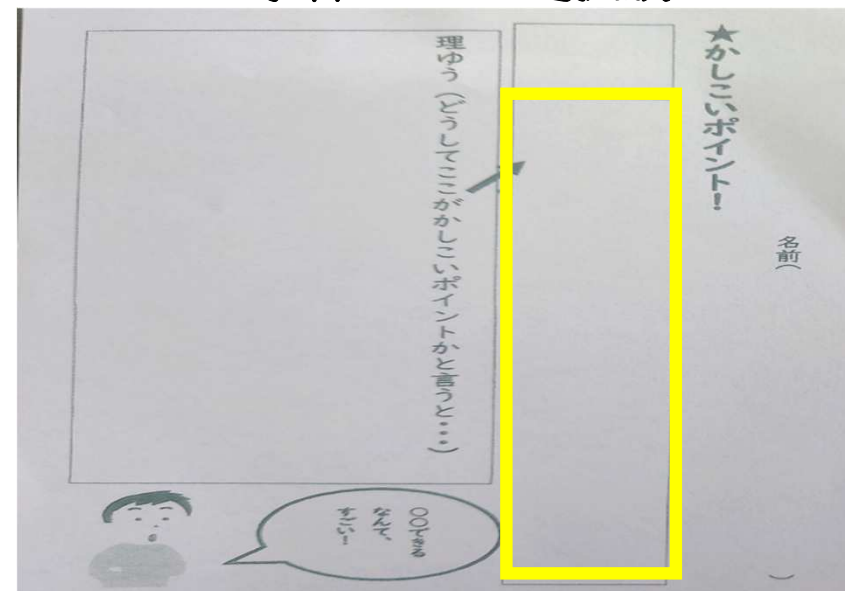
個への
支援

学習環境の工夫

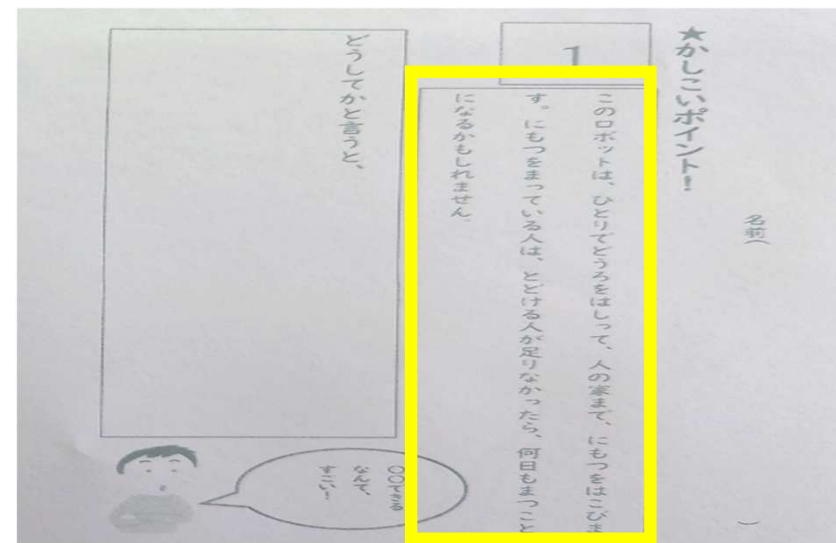
考える対象の選択肢



学習カードの選択肢



本文の記載がないもの

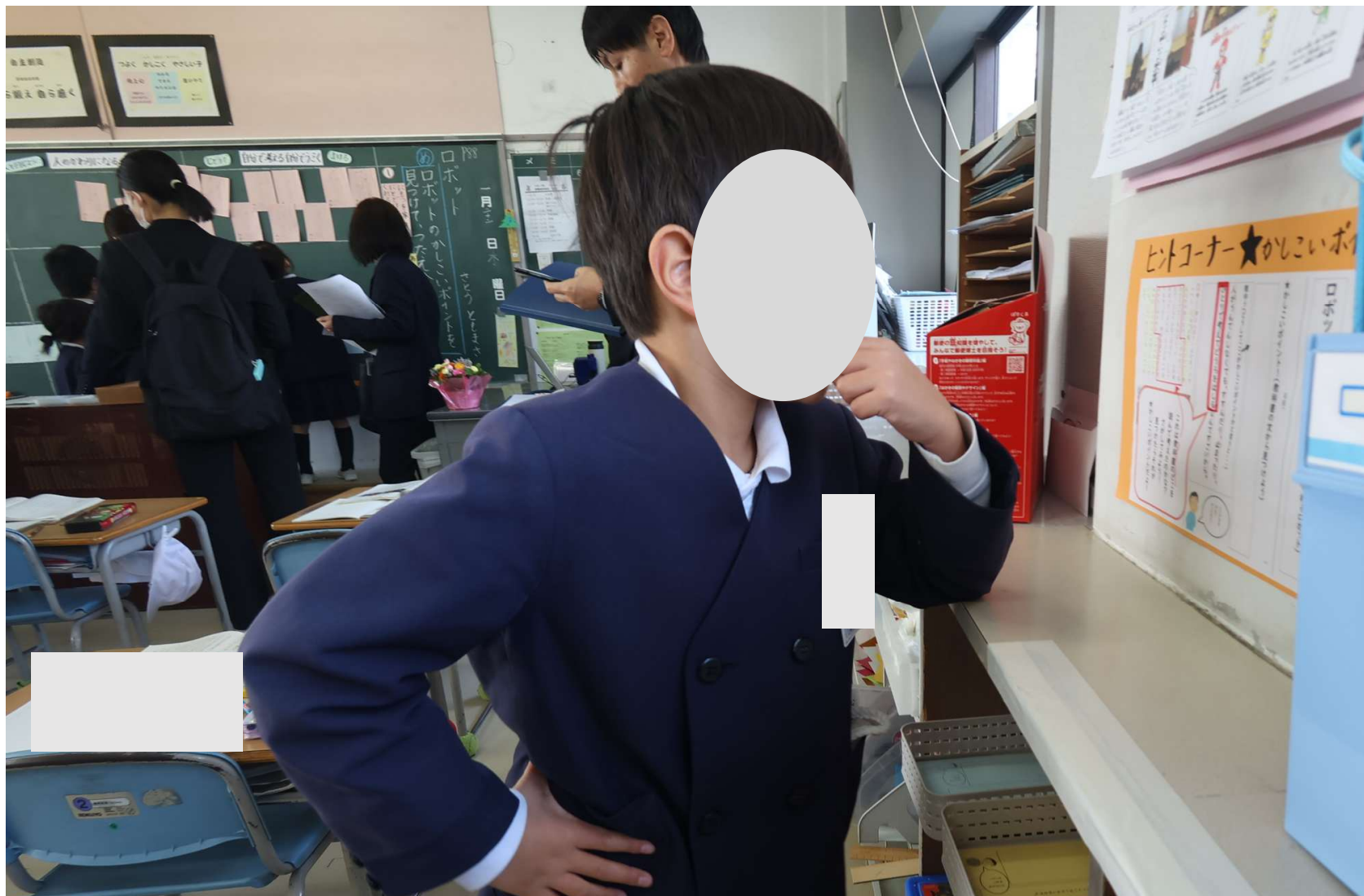


本文の記載があるもの

児童実態を捉え、多様な選択肢を用意する

学習環境の工夫

ヒントコーナーの活用

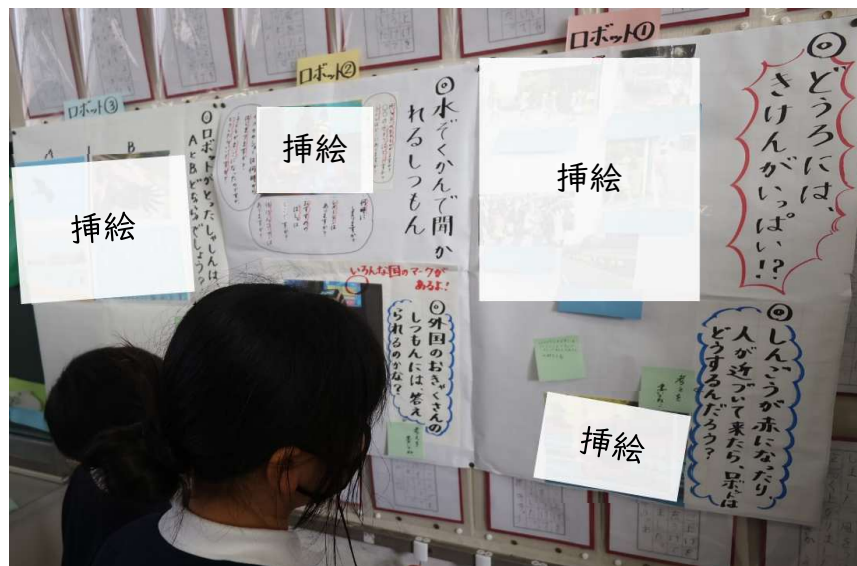


どの語や文に着目したらよいのかをヒントをもとに考える

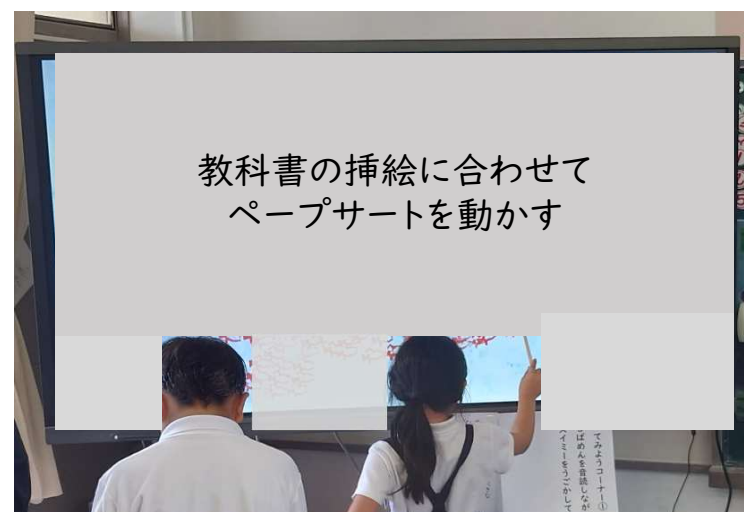
学習環境の工夫

多様な選択肢を用意する

学習コーナー①「考えようコーナー」



学習コーナー②「やってみようコーナー」



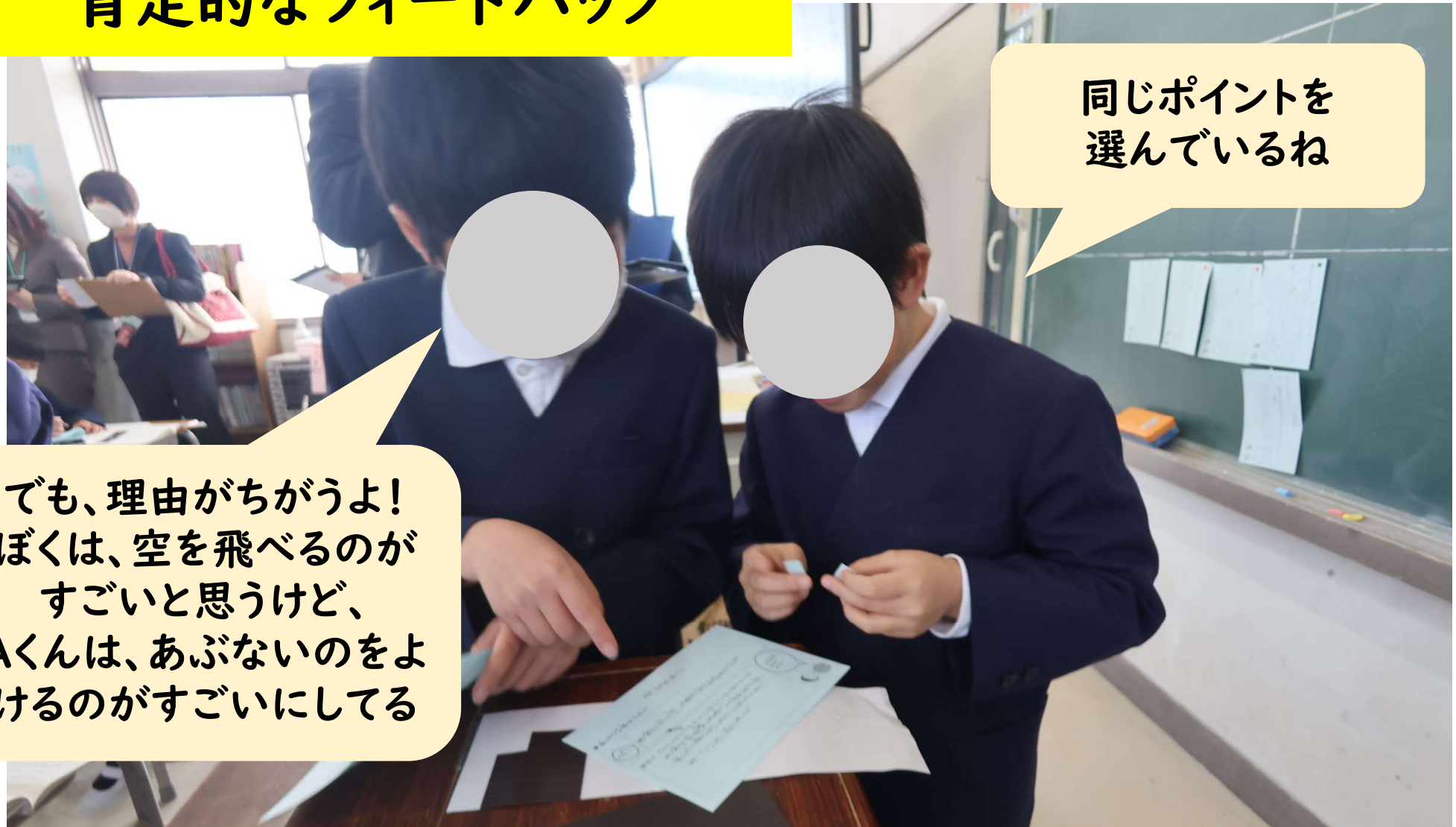
選択肢を生かしたアウトプット

黒板を活用し、それぞれが考えたことをアウトプット



他者参照しながら、協働的に学びを深める児童の姿

肯定的なフィードバック



**友達と考えを共有することで、
同じ考えや違う考えを評価し合う児童の姿**

熊野町立熊野第三小学校の取組

個の
見取り

学びの振り返り

でい	け	同	ど	い	（う）		（め）
、	ど	じ	う	だ	わ	見	口
あ	、	人	し	の	た	つ	ボ
ん	同	が	て	で	し	け	ッ
し	じ	い	か	あ	は	て	ト
ま	人	る	と	ん	同	、	の
し	が	か	言	し	じ	つ	か
た	い	、	う	ん	人	た	し
。	っ	わ	と	ま	が	え	こ
	は	か	、	し	い	合	い
	い	ら	さ	た	っ	あ	ポ
	、	な	い	。	は	う	イ
	い	か	し	っ	い	。	ン
	た	っ	よ		、		ト
	の	た	は				を

友達と考えを共有したことのよさを実感！

教師の役割

学習コーナーを活用して
考える児童

なるほど！
どんな乗り物に乗っているかを
見つけたらいいんだな。

学習コーナー等を
活用して自分の
考えをもつ

みんなは、どんなところに
着目して書いているのだろう…。

他者参照により友達の意見を知り、
考えを深めている児童

友達の意見を参考に
再度、自分の考えを
深める

学習コーナーで
確かめてみよう！

何を書いたら
いいんだろう…。

挿絵

登場人物の行動を具体的に想像するために
教科書から着目するところを
見つけようとしている児童

みんなの考えを知ったから、
少し書き直してみよう！
まずは、絵から加えよう。

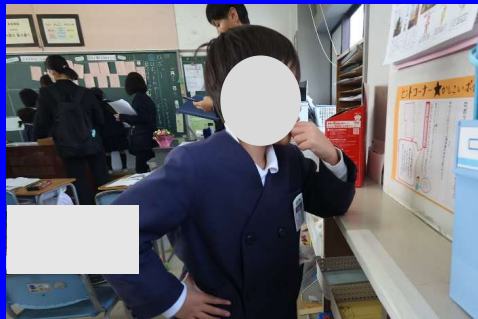
再び自分の考えを見直している児童

教師は、児童の学習状況を適切に見取り、支援する

「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実に向けてのポイント

資質・能力を育成するための単元（題材）を構想する

主体的・対話的で深い学びの実現



個別最適な学び



協働的な学び

デジタル学習基盤（一人1台端末やクラウド環境等）の活用

「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実に向けてのポイント

深い教材研究

- ☐ 単元(題材)で育成する資質・能力を明確にしていますか。
- ☐ 児童生徒の深い学びを促し、教科の本質に迫る「単元を貫く問い」などを設定していますか。
- ☐ 児童生徒の思考の流れを想定した単元(題材)を構成していますか。
- ☐ 多様な個性・特性を有する児童生徒が存在することを前提として、授業において起こりうるつまずきとそれに対する支援を想定していますか。

個の見取り

- ☐ 児童生徒一人一人の興味・関心や能力・特性等を把握していますか。
- ☐ 授業において、展開や振り返りの場面で、児童生徒一人一人の学習進度や学習到達度、つまずき等を把握していますか。(形成的評価)
- ☐ 単元(題材)の終わりに、児童生徒一人一人が単元(題材)で育成する資質・能力を身に付けることができたか把握していますか。(総括的評価)

個への支援

- ☐ 児童生徒が興味・関心や能力・特性等に応じて自ら教材・学習方法・ペース等を選択できる学習環境を整えていますか。
- ☐ 個別最適な学びの中で孤立した学びに陥らないよう、また、協働的な学びの中で個が埋没しないよう、児童生徒一人一人に適切な指導や関わりを行っていますか。